



1月11日

「いよいよ「麒麟がくる」が来た

明智町の大正ロマン館に「麒麟がくる ぎふ恵那 大河ドラマ館」がオープン。関係者や地元住民ら300人が見守る中、明智太鼓保存会の演奏、明智小学校児童の開館宣言、鏡開きで開館を祝いました。

館内には番組に登場する衣装や出演者の紹介パネルが展示され、等身大パネルが撮影スポットとして人気を集めていました。同館1階では東美濃の戦国史や山城を紹介する特別展も開催。大河ドラマ関連グッズや市内特産品なども販売されています。

大河ドラマ館は令和3年1月11日まで開館。詳しくは明智光秀ゆかりの地恵那市ウェブサイトをご覧ください。



1月8日

「勇気ある行動で火災を防いだと感謝

市消防本部は、火災の延焼を食い止めた松井ひとみさんと蒲圭一郎さん（岐阜市）に感謝状を贈呈しました。

2人は、昨年12月12日、補聴器のメンテナンスのため明智町の90代男性宅を訪問したところ、台所のガスの元栓から天井付近まで炎が上がっているのを発見。元栓を閉め、炎に水を掛け、並行して119番通報しました。この消火活動により消防車が到着する前に火は消えました。

松井さんと蒲さんは「2人だったので落ち着いて行動できた」「延焼を防げてご本人にけがもなく、本当に良かった」などと振り返りました。



12月20日

「人権作文コンテストで全国入賞

全国人権作文コンテストで、安江史笑さん（恵那西中2年）が、岐阜県大会最優秀賞と中央大会法務省人権擁護局長賞を受賞しました。

中学生が人権について考え、理解を深めることを目的としたこのコンテストは、今回で39回目。全国から91万9,154人の応募がありました。

安江さんは「私のホストマザー」と題し、オーストラリア留学で車椅子のホストマザーと出会い、障がいへの考え方が180度変わった体験をつづりました。「受賞を聞いた時は信じられなかった。選ばれてとてもうれしいです」と喜びを話しました。



12月12日

「学校・地域のふるさと学習が大臣賞

岩邑小学校と岩邑中学校が、地域学校協働活動推進に係る文部科学大臣表彰を受けました。これは、地域全体で子どもの成長を支える活動が表彰されるもので、本年度は全国から100団体が選ばれました。

両校は以前からふるさと学習に取り組み、小学生は言志祭への参加や伝統文化体験などで学習を深めています。中学生は岩村城跡石垣清掃、祭りでのブース運営など地域活動の担い手として活躍しています。

小栗結奈さん（岩邑中2年）は「自分たちが町を盛り上げることを考え、実行できた。今後もふるさとの良さを広めていきたい」と話しました。

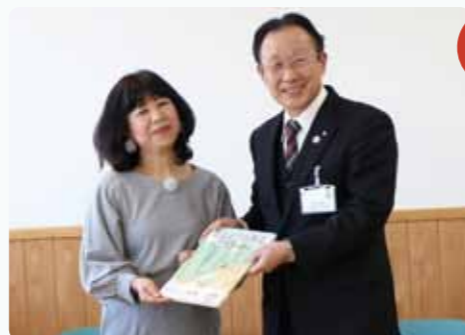


1月18日

「来年は、ぎふクリスタル国体2021

令和3年1月に開催の第76回国民体育大会スケート競技会に向け、恵那スケート場で、スタートアップイベントが開催されました。公募されていた大会テーマなども決定し、テーマは「ぎふクリスタル国体2021」、スローガンは「銀嶺にきらめく夢は無限大」と発表されました。

イベントでは、スペシャルゲストとして、元スピードスケート選手で長野オリンピック金メダリストの清水宏保さんと、元ショートトラックスピードスケート選手で岐阜県出身の勅使川原郁恵さんが登場。トークショーとスケート教室が行われ、盛り上がりを見せました。



1月9日

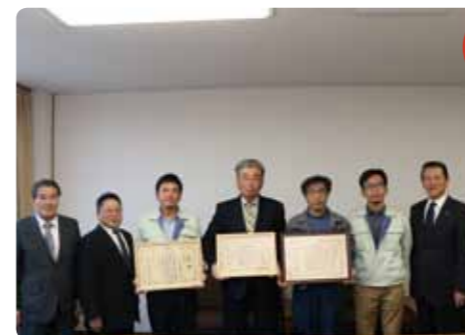
「「木育」を描いた絵本を市に寄贈

市内在住の安藤厚子さんが、自費出版した絵本45冊を市に寄贈しました。

安藤さんは、ぎふ木育指導員養成講座を受講して木育の大切さに気付き、講座の卒業発表で紙芝居を制作。今回、紙芝居を元にして絵本を1,000部出版しました。

絵本『どんぐりとこようちゃん』は、男の子が主人公。仲良しのどんぐりの木が伐採されるが、木の椅子に生まれ変わって男の子の元に戻ってくるという話です。

安藤さんは「子どもの心の成長には、森や木に親しみ、学ぶことを通じて、心豊かに暮らす木育が大切。この絵本も活用してもらえたら」と話しました。



12月20日

「串原の地域づくり活動が表彰

地域活性化などの優良事例を選定するディスカバー農山漁村の宝個人部門に大島光利さん（串原）が選ばれました。大島さんは、空き家を改修し移住定住を促進する古民家リフォーム塾に従事。里山づくりとして森林整備も行っています。

大島さんが副理事長を務めるNPO法人奥矢作森林塾も、全国林業経営推奨行事林野庁長官賞を受賞。矢作ダムの立木での炭焼きや、柱材にならない木材のチップ販売など、地域の林業発展に貢献していると評価されました。

大島さんは「空き家を全て埋めるまで、引き続き取り組みたい」と話しました。



12月14日

「下田歌子賞の受賞作品が決まる

岩村コミセンで下田歌子賞の表彰式があり、エッセー1,407点、短歌1,932点の中から受賞作品が表彰されました。市内の受賞者は以下の通り。

エッセー中高生の部最優秀賞＝遠山若夏菜さん（岩邑中3）、優秀賞＝西尾奏海さん（南高3）、小学生の部最優秀賞＝堀愛那さん（明智小4）、優秀賞＝榎津菜穂さん（大井第二小6）、後藤慶祐さん（岩邑小6）、鈴木優歌さん（同）。短歌の入選は一般の部＝安藤悦子さん、中高生の部＝栗下星七さん（明智中2）、三尾彩那さん（恵那西中1）、小学生の部＝伊藤稟乃さん（岩邑小2）、中垣創さん（串原小2）。